



# 出水南小

校訓: やさしく かしく たくましく

発行: 校長 塩山 武陵

## 避難経路確認(地震)訓練が行われました

今日は避難経路確認(地震)訓練が行われました。

学校教育目標の目指す子ども像のなかに「命を大切にし、意欲的に運動に親しむ子」という項目があります。「自分の命は自分で守る」こと、そのために「主体的に考え、仲間と協働し行動できる子ども」(学校教育目標)になってもらいたいです。実際には地震や火災が起こるのは授業中だけではありません。登下校中・休み時間・放課後・休日など担任や教職員が子どものそばにいない時間に起こる可能性もあります。こんな時に最も大切なことは「自分の命を守るために自ら考え行動すること」です。これには正解はありません。運動場で遊んでいるときに中央に集まり伏せて待つ、歩道わきのブロック塀の倒壊を避けるために車道に退避する、登校中であっても家に引き返す、または公園など広い場所に避難する、など様々な対応が考えられます。あえて言えば正解は結果的に「自分の命を自分で守ることができる」でしょう。

午前中は雨の予報だったため予定を変更し、各学年での訓練としました。全体で集合することはできませんでしたが、訓練でできないことは本番でもできません。そのことを留意しながらそれぞれの学年に応じて真剣に訓練に参加できていました。



キラリン



みなみちゃん



オークスさん



机の下で「ダンゴムシのポーズ」  
まずは頭を守ること。机の脚を握ること。がポイントです。熊本地震の時は自分の体を固定するだけでも大変でした。割れ物から身を守るためには上靴をはいていることも大切です。



熊本地震を機に備えるようになった防災頭巾をしっかりかぶります。人員確認が命に関わる大切な事項です。体育の授業での素早い整列が生きてきます。火災が発生した場合はハンカチを口にあて、姿勢を低くして避難します。